

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 ひたちなか市立勝倉小学校 担当教諭名 白土 恵美

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成22年2月19日(金) 9:00 ~ 11:30
対象学年と人数	1年生(64名), 2年生(47名), 3年生(67名), 4年生(75名)
派遣講師名と出身国	ジェフリー・パーク氏(アメリカ) アトラ・アルデカニ氏(オーストラリア)
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師の出身国の紹介 ・ ふれあいゲーム ・ 児童からの質問
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーストラリアの動物や学校のことがたくさん分かりました。危険な動物や安全な動物がいることも分かりました。(1年生) ・ 活動がとてもおもしろかったです。もっと英語を勉強して、オーストラリアに行きたくくなりました。(2年生) ・ アメリカはすてきなところだなと思いました。この勉強が好きになりました。(3年生) ・ 写真のことがとても心に残りました。それから、日本との違いも分かりました。さそりやひょうの話は、聞いてびっくりしました。(4年生)
先生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ アトラさんは、国の様子をスライドで見せながら、クイズを盛り込んで展開してくださった。そのため、低学年の児童でも、授業の最後まで興味深く集中して話を聞くことができた。質問コーナーでは、たくさんの質問が児童から出され、充実した1時間を過ごすことができた。 ・ ジェフさんは、国の様子を写真で見せてくださったり、アメリカの子供たちの遊びを教えてくださいました。児童は体を動かしながら英語を使って遊べたことで、英語を理解できたという喜びを感じていた。言語はコミュニケーションの一つのツールであり、お互いを知ろう分かろうとするために大切なものであることを、これからも体験の場を通して学ばせていきたい。 ・ お二人とも、ご自分の得意な分野・技術を生かして国の紹介をされていた。そのため、児童にとっても教師にとっても、とても魅力ある授業展開であった。我々教師も得意分野・技術を十分に生かし、魅力ある授業を行っていきたく感じた。

